

What is this?

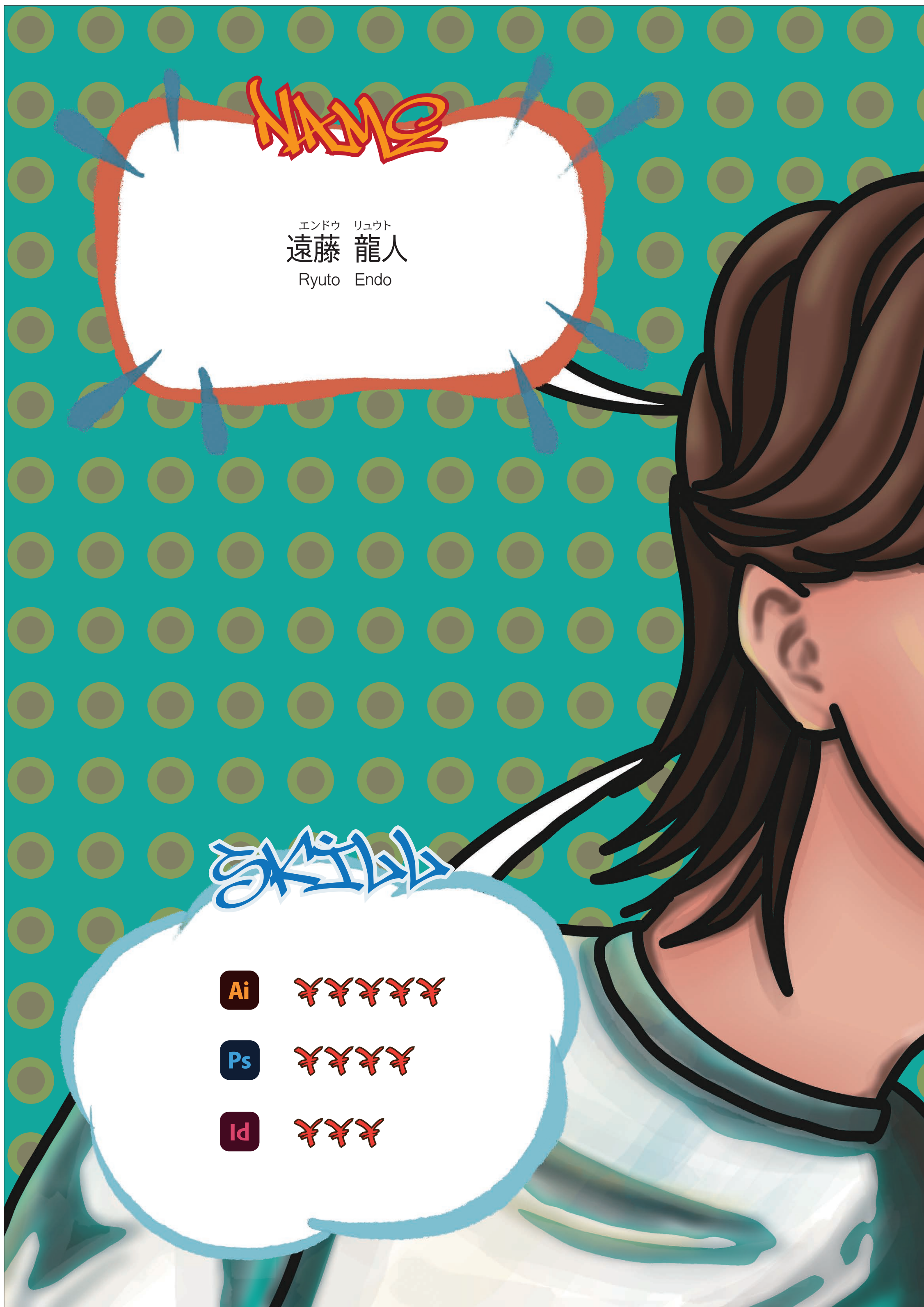


# NAME

エンドウ リュウト  
遠藤 龍人  
Ryuto Endo

# SKILLS

- Ai** ㄨㄨㄨㄨㄨㄨ
- Ps** ㄨㄨㄨㄨㄨ
- Id** ㄨㄨㄨ





Department

Graphic Design

What kind of designer  
do you want to be?

人々の記憶の一部になるような  
デザインができるデザイナーになりたいです。

# Spatial Typography



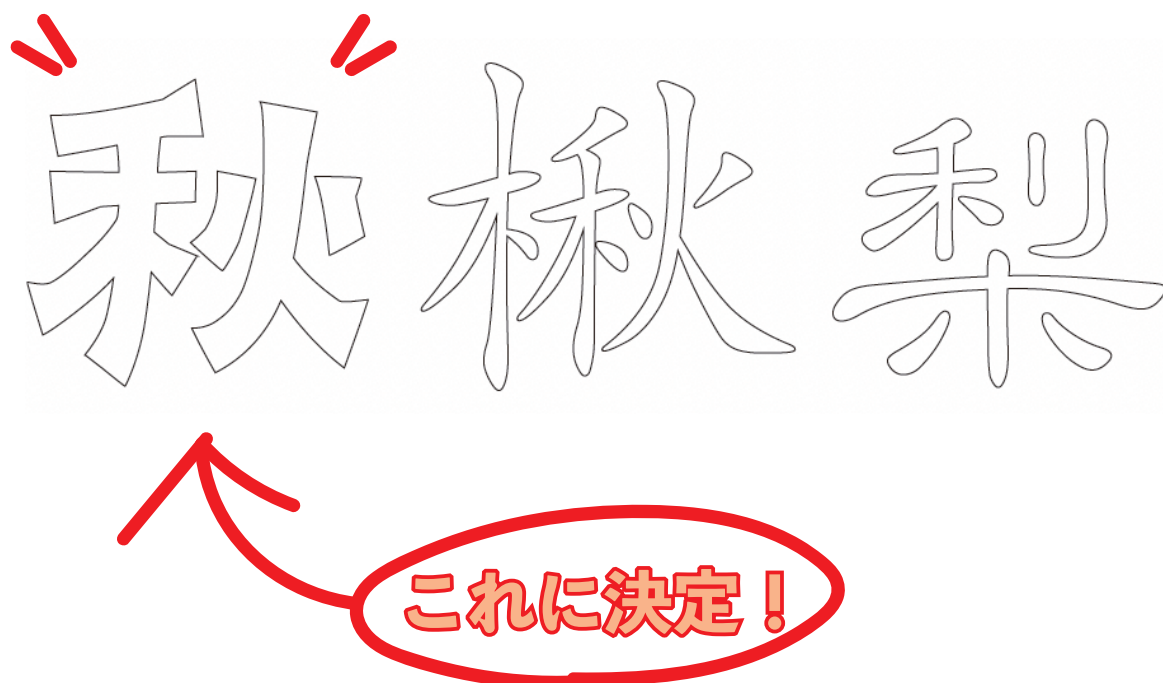
空間を意識したオリジナルタイポグラフィ

## 錦秋の香り

コンセプト

夏が終わり、だんだん秋を感じる風景を文字とともに映し出すことで視覚的に「秋」を感じられるように制作しました。ポイントは、「秋」のフォントと奥の風景が調和するようにフォント選びに時間を使いました。

フォント設計



フォントを決めたら、次は切り抜きです。

スチレンボードにフォントを印刷した紙を貼り合わせて切り抜いていきます。

スチレンボードにすることで折れる心配もないですし、立体感も感じられてより作品の質が上がります。

最初は、白のままで行こうと思いましたが、撮ってみたところ反射がありすぎてよく映らなかったため、黒の画用紙に内側をアクリルで黒に染めて再撮影しました。

Before



白飛びしてしまう...

After



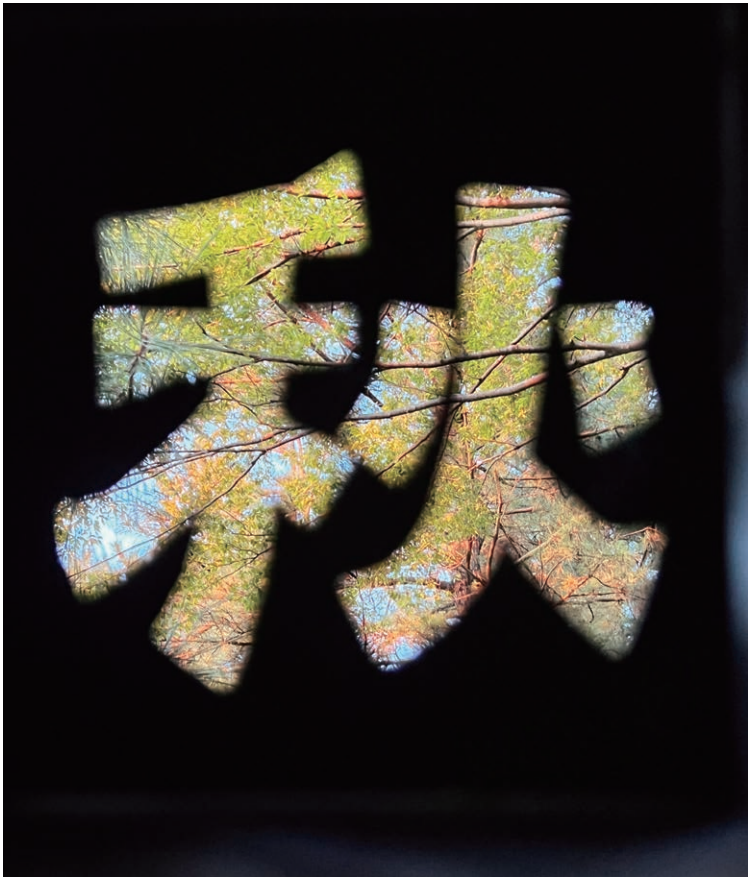
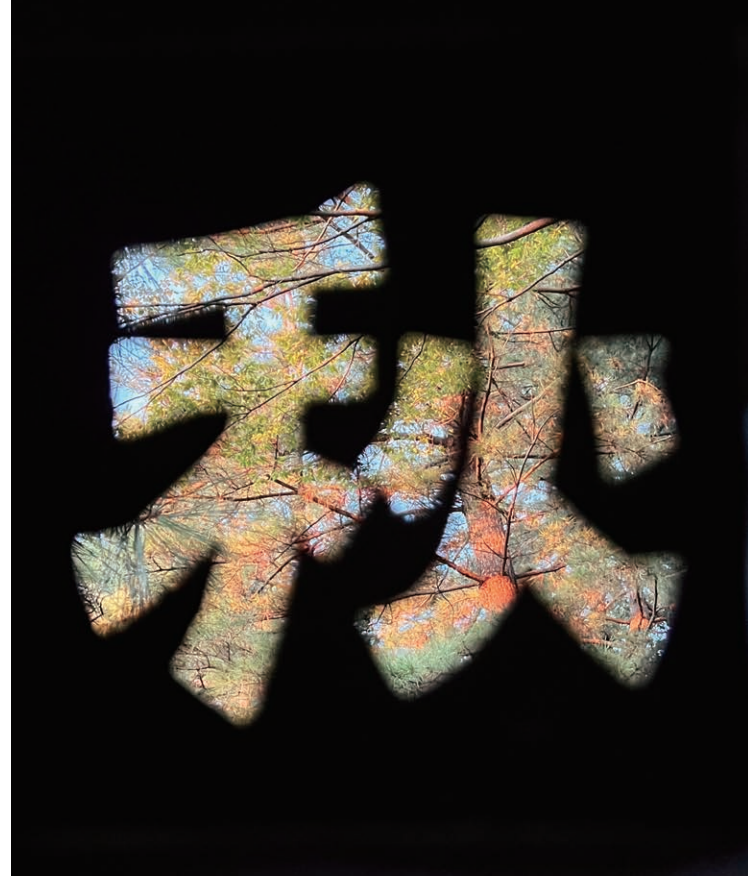
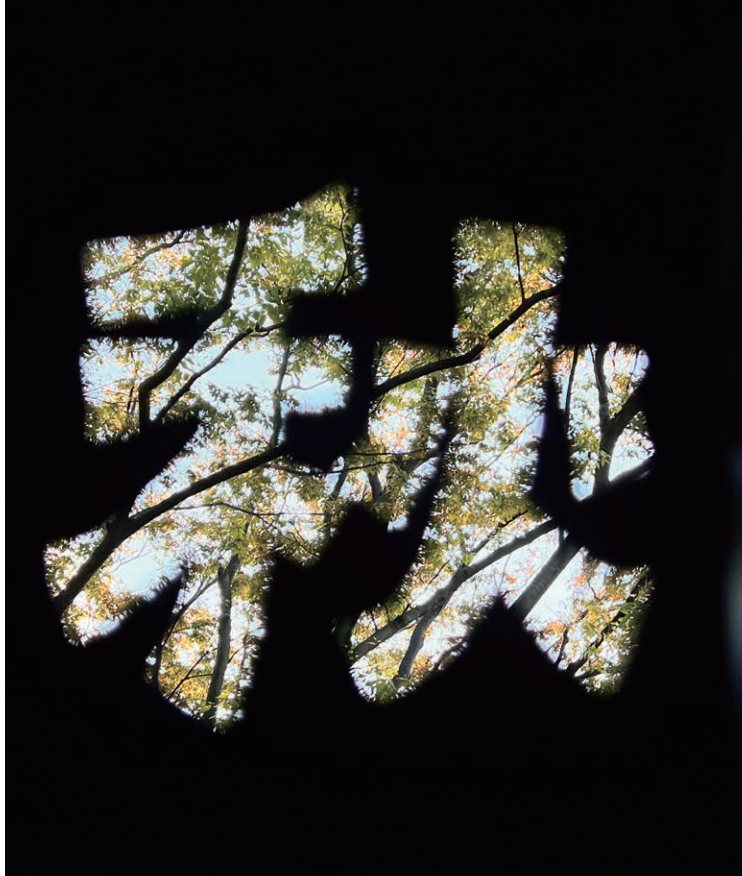
光が反射せず綺麗に映る!

黒に塗りつぶし



## 制作過程





周りのものを色々被写体にして撮っていき、自分が納得のいく写真が撮れるまで撮影していました。

完成



代々木公園でいろんな場所から撮って最終的にこの写真を選びました。理由は夏の終わりを感じさせる碧い木々と秋を感じさせる夕日が秋の訪れを感じさせているのと、左右に夕日の光が写っていて立体的に写っているのを決しました。

# Advent Calendar



アンティークなトランクケースを意識したオリジナルパッケージデザイン

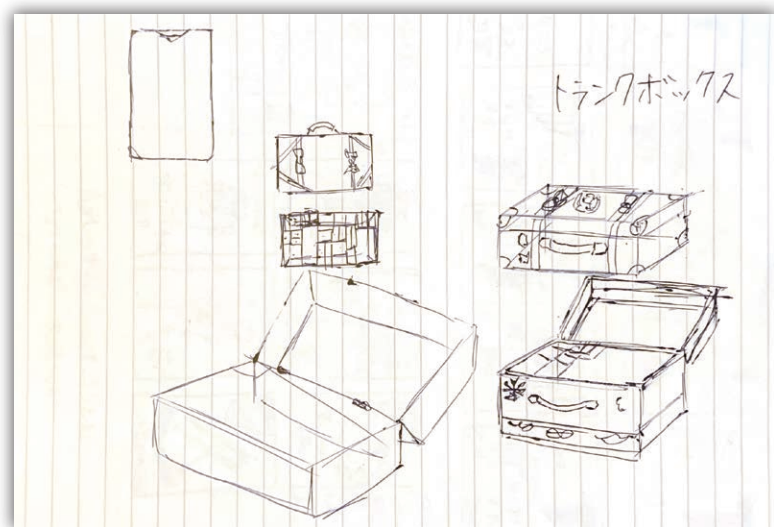
## アドベントカレンダー

### コンセプト

空港にて、出張から帰宅してきた親が家で待つ子供に向けて買って帰るということを想定して、空港の雰囲気合うようにアンティークなキャリーケース型にクリスマスのデザインを施すことで北米の街並みを感じられるのと、大人でも手に取りやすい外見で贈り物にもピッタリなデザインを意識しています。

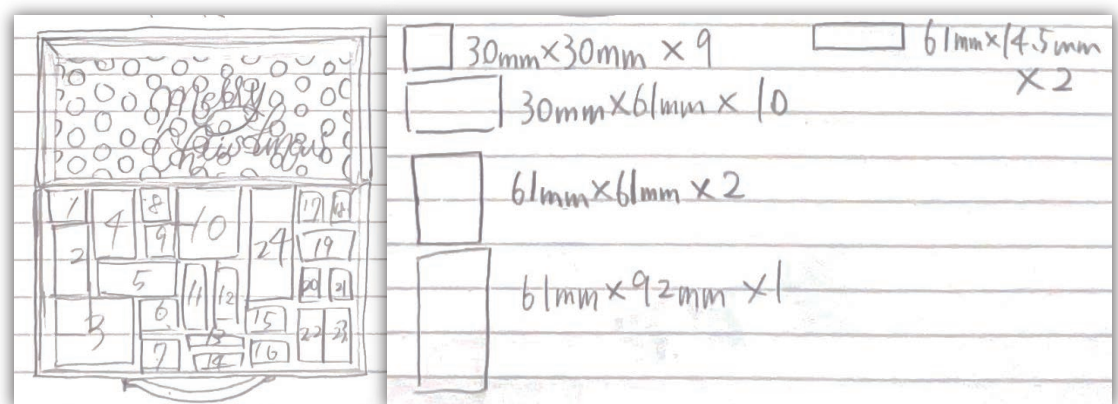
### ラフスケッチ

#### 外箱



インロー式を片方だけ止めてトランクケースのように開けます。そして、中をどのような配置にするかを考えていきます。1~24の数字に合わせてお菓子が入った箱が入っているので、どんなサイズにするかを考えます。

#### 内箱



全部同じ大きさに使用と思いましたが、トランクボックスにはいろんな荷物が入っているので、ごちゃごちゃ具合を演出するために大きさも順番も揃えずにいくつかのサイズをそれぞれ決めてトランクボックスに収まるように決めました。

### デザイン



表裏どちらともクリスマスを連想させるデザインにして、視覚的にワクワクするようなデザインにしようと考えました。アンティークな外観とデザインがマッチするようにリースの真ん中に型押しで刻印されたレザーパッチを置くことで、リッチなクリスマスの雰囲気が出て、よりトランクとの親和性が高まると考えました。



## 制作過程

### 外箱デザイン



表は入り口なのでリースを置いて貰った方を迎え入れる意味をこめていて、単体では物足りないので装飾を添えて豪華な印象をつけました。そして真ん中には型押し加工されたレザーパッチを配置してトランクの雰囲気合うように工夫しました。



裏は真ん中にクリスマスツリーを立てて飾り付けをしました。左側にはプレゼントボックス、右側には雪だるまを配置して迎え入れる気持ちをこめました。そして真ん中にある“Gifts for Loved ones...”にはこの商品を贈る人に向けたメッセージで、子供だけでなく親同士で贈る場合でも刺さるような言葉選びを心がけました。



開いた時にこの絵が見えるようになっていて、飛行機要素が少なかったので機内の様子と窓から星空を舞うサンタクロースの姿を添えて、真ん中の言葉は買った人の気持ちを表しています。

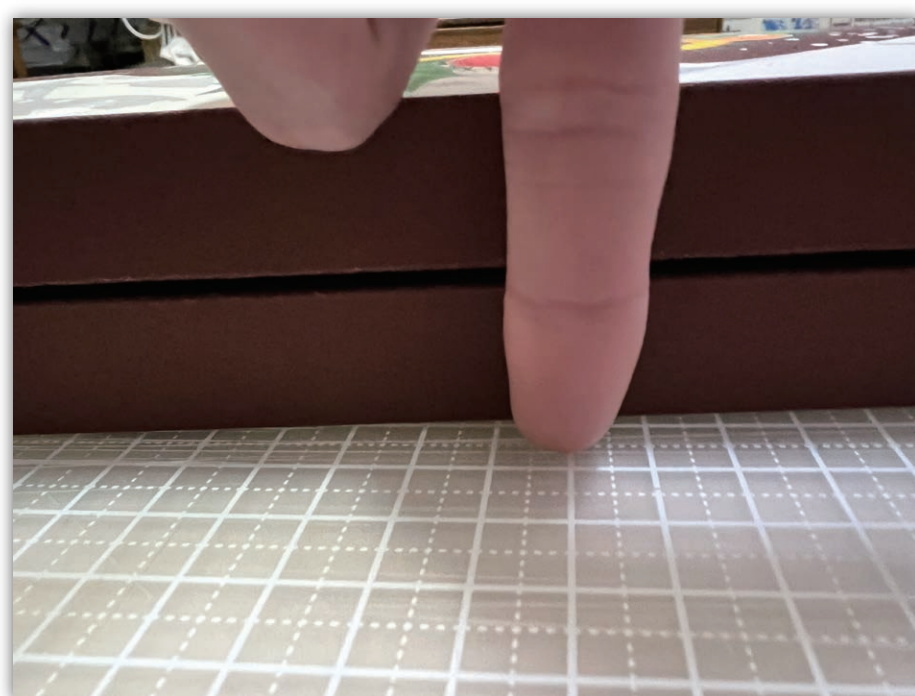
## カレンダー

1	2	3	24		22	21
5	4	23	20			
	6				19	18
	8	10	11	14		
7	9	12	13	15	16	17

割り振りは蛇行気味にして迷路のように辿っていく感覚を楽しんでもらえるようにして、開いた時に大きな一枚絵が見えることで目で見て楽しめるように工夫しました。



デザインはこのようになっています、フォントも雰囲気に合わせてヴィンテージ調のを選び、星空のところはメルヘンなフォントに光彩をつけて背景に馴染むようにしました。大きな星はクリスマスの日配置して他と差別化しました。



なかなかうまくいかず、何度も微調整して完成に近づけていきました。

完成





# Book Design



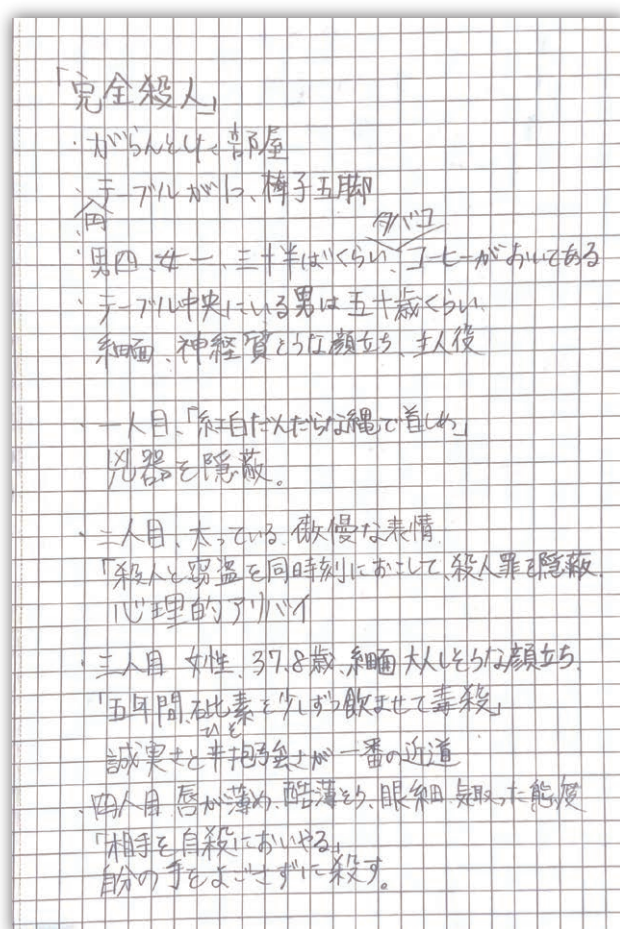
不気味さを意識したブックデザイン

## 完全殺人

### コンセプト

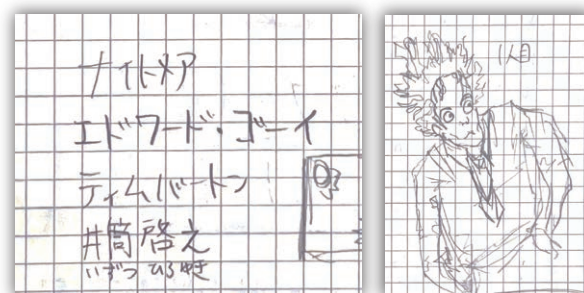
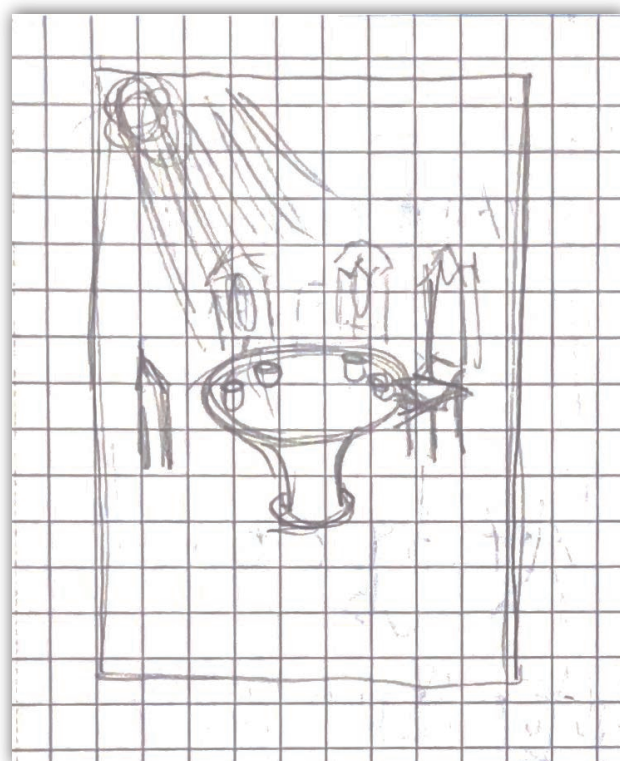
西村京太郎さん著書の「完全殺人」をブックデザインさせていただきました。奇妙なサスペンスホラーを軸にして自分のイメージするサスペンスホラーを織り交ぜながら、新しい「完全殺人」を表現出来るのではないかと考えました。

### 分析



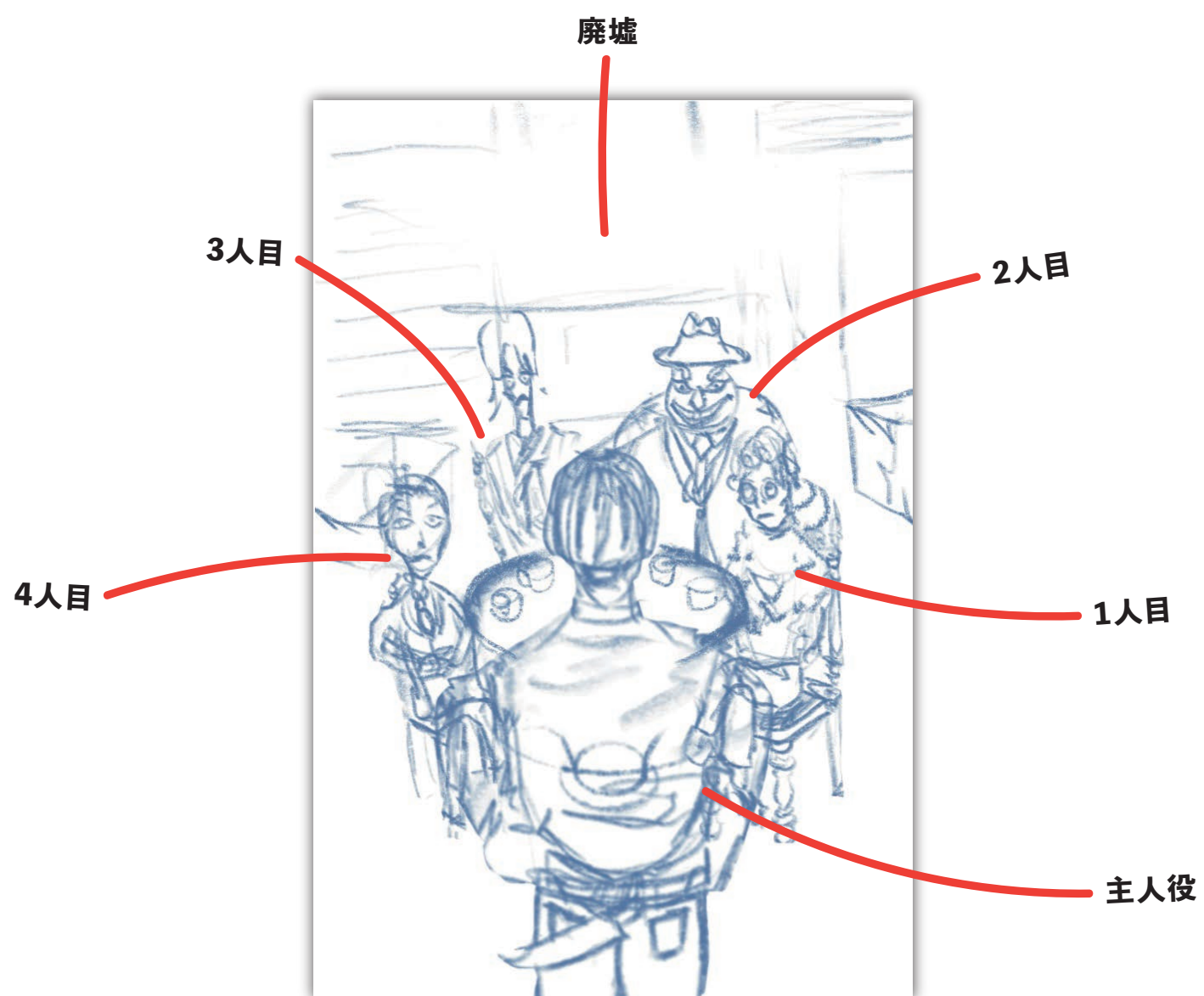
本の内容を簡潔にまとめて、デザインによりリアリティをだします。今回登場人物が5名いるのでその人の性格や外見をイメージするために一人ずつリストアップしています。

### アイデア出し



自分のデザインイメージに近いものを例に挙げて方向性を固めていきます。

## ラフスケッチ



場所が廃墟となっているので、薄暗い廃れた部屋にアンティークな家具を置いて古くから使われていた家だということを表しています。手前にいる主人役側から俯瞰する視点で主人役の話をしている描写を表そうと考えています。

## イラスト

表紙

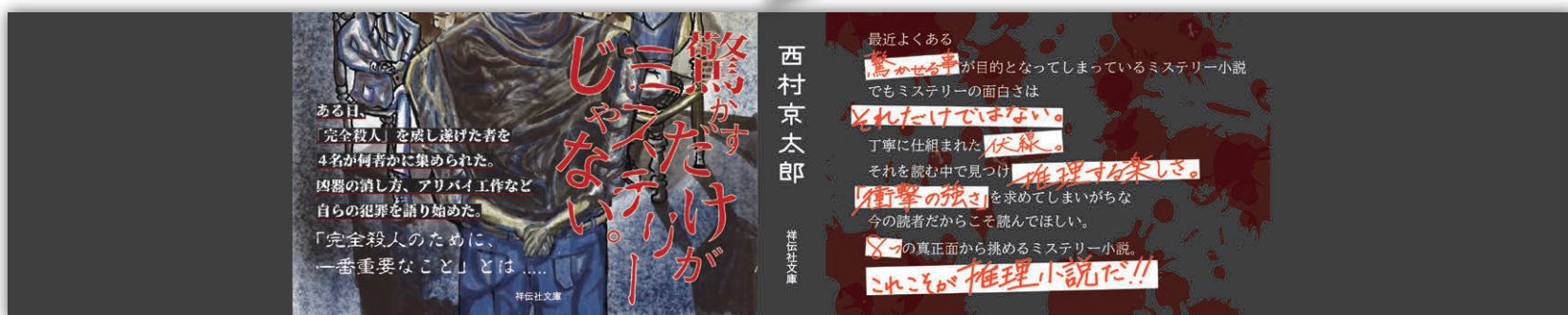
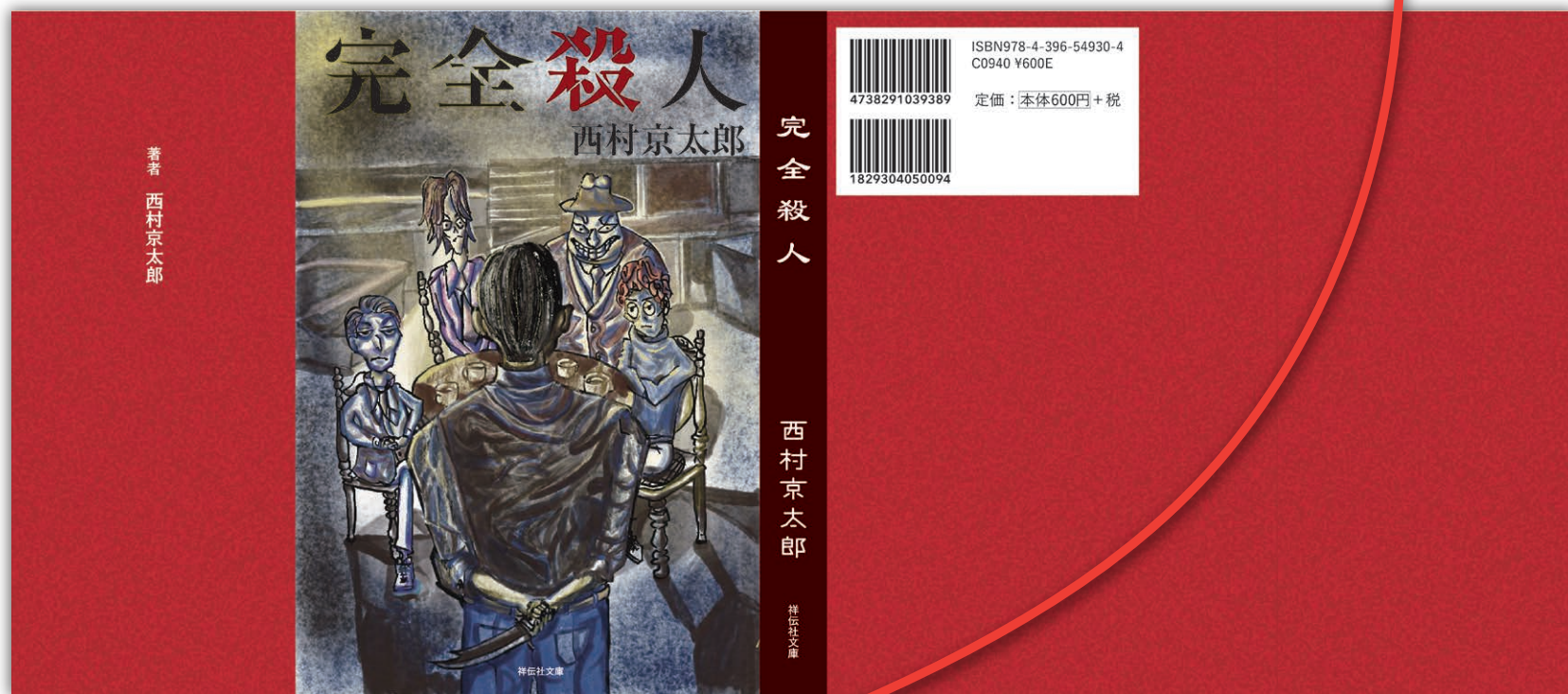


帯



初めてデジタルでイラストを描いてみて手書きのような味がちゃんと出てよかったと思いました。表情も綺麗に描かず少し奇形な形にして全体的な雰囲気に合わせて、主人役の手元が表紙と帯で変わっているのがポイントです。

## レイアウト



全体はこのようになっていて、表紙の方にテクスチャをかけて高級感を与えました、表紙の右側にあるコピーは既存のレイアウトをよりサスペンスよりにオマージュして、左側はホラー要素を入れてレイアウトしています。裏表紙の帯には血飛沫を添えて、コピーは強調したい部分は手書きの文字を配置して、規律を崩しながら話の雰囲気に合わせてレイアウトしました。



完成



ある日、  
「完全殺人」を成し遂げた者を  
4名が何者かに集められた。  
凶器の消し方、アリバイ工作など  
自らの犯罪を語り始めた。  
「完全殺人のために、  
一番重要なこと」とは……

祥伝社文庫



ISBN978-4-396-54930-4  
C0940 ¥600E

4738291039389

定価：本体600円＋税



1829304050094

最近よくある

驚かせる事が目的となってしまうミステリー小説  
でもミステリーの面白さは

それだけではない。

丁寧に仕組まれた伏線。

それを読む中で見つけ推理する楽しさ。

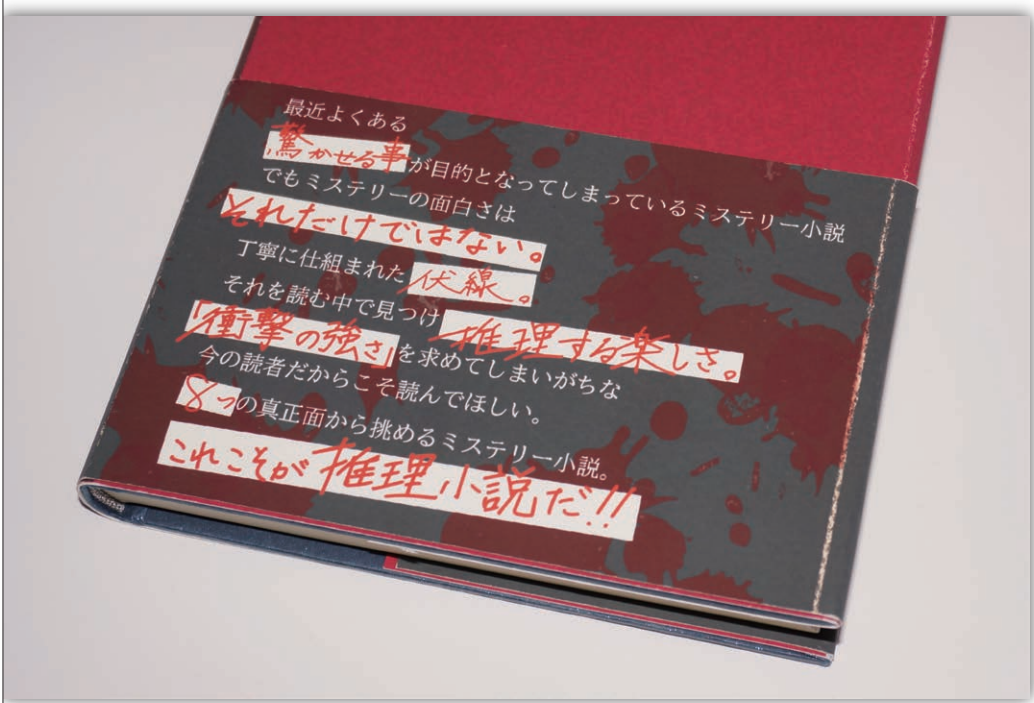
「衝撃の強さ」を求めてしまいがちな  
今の読者だからこそ読んでほしい。

Xの真正面から挑めるミステリー小説。

これこそが推理小説だ!!

Illustration Design





今回紙も上質な紙を使用しているので、絵のタッチに合った風合いが出てより不気味さを際立たせることが出来ました。

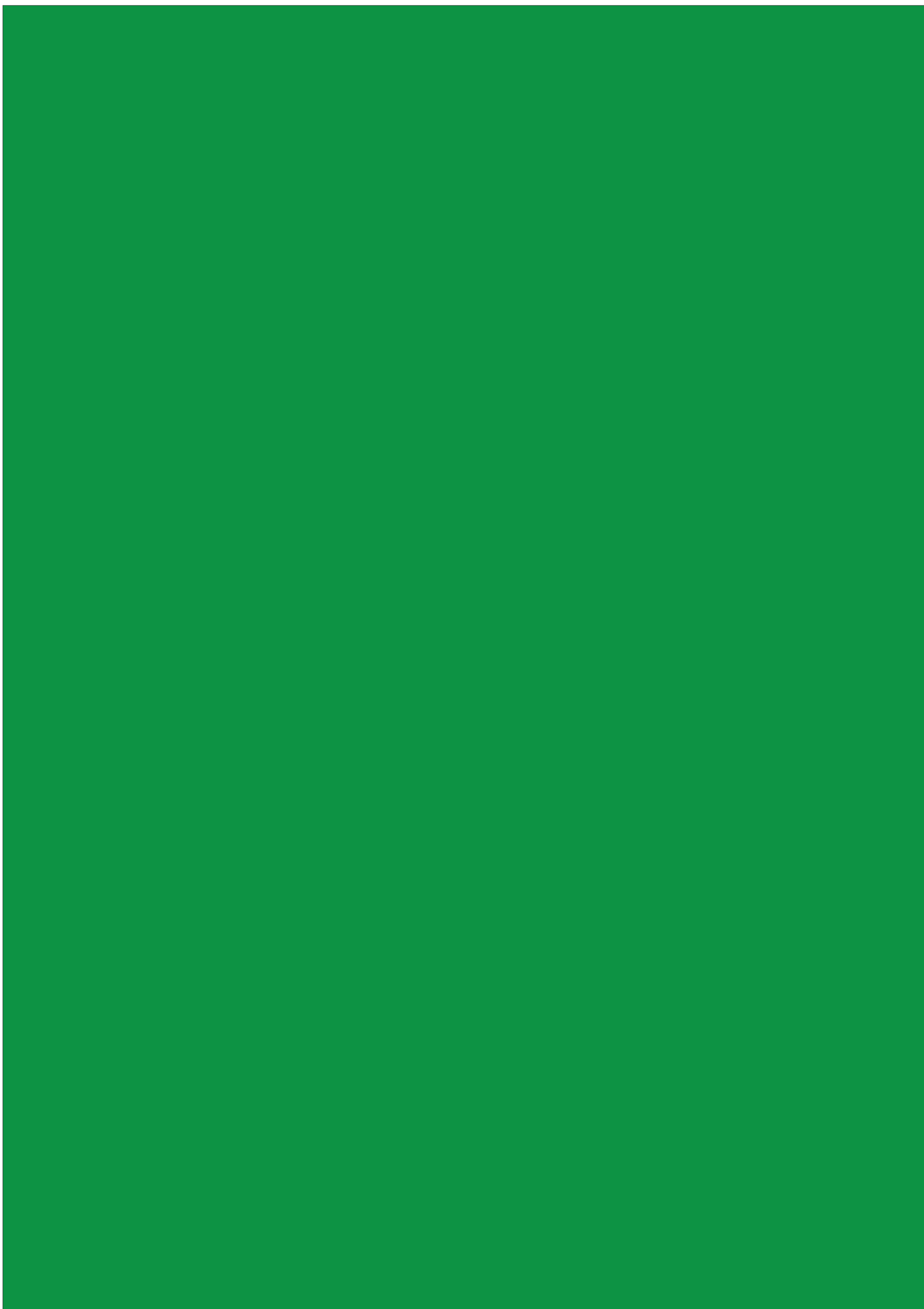
そして表紙と帯での主人役の手元が違っている演出は、この本を読んだ読者が後にハッと気付かされるような仕掛けになっていれば幸いです。

Thank you for browsing



No. 11

# Spatial Typography



No. 12

Advent  
Calendar





No. 13

Book  
Design